



秋本番
グラウンドゴルフを
楽しむ岡垣町民の
みなさん



定例会報告..... 2 ページ

一般質問..... 5 ページ

議会ひろば..... 8 ページ

9月定例会報告

- 平成10年度水道事業会計の決算が認定される
- 聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書が可決される

第三回定例会は、9月6日から24日までの19日間開催されました。町長から、一般会計補正予算など十一議案の提出と二件の報告があり、議員からは、介護保険制度の改善を国に求める意見書など三件が提案され、可決九件、同意二件、認定一件、否決二件という結果になりました。

監査委員の選任について



(同意)

内浦区の竹井幸則さんが、平成11年9月6日に再任されました。今後四年間岡垣町の監査をしていただきます。

教育委員会委員の任命について



(同意)

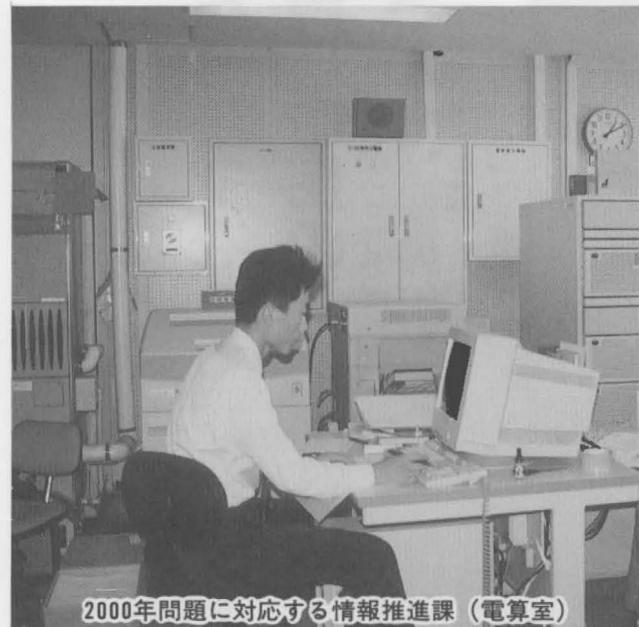
上海老津区の森俊一さんが平成11年9月24日に再任されました。今後四年間教育行政の向

上に努めていただきます。

一般会計補正予算 (第4号)

(可決)

今回は、遠賀郡4町合併任意協議会の設立に伴う負担金、2000年問題に対応するための本庁及び岡垣サンリーアイ電子計算機の入れ替えによるリース料、少子化対策臨時特別交付金



2000年問題に対応する情報推進課 (電算室)

事業として吉木学童保育所整備及び幼稚園設備整備補助金、軽費老人ホーム海老津園で実施される痴呆対応型老人共同生活援助事業に対する委託料の増額などに伴う補正です。これにより、歳入歳出それぞれ九千五百六十八万四千円が追加され、予算総額は九十四億三千六百六十一万円となりました。

国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号) (可決)

今回の補正は、国保事業

の運営の安定化を図るためにレセプト点検体制の充実強化、被保険者の指導等の徹底、国保実績報告書作成電算システムや調整交付金申請書作成電算システムの改善が行われます。これにより、歳入歳出それぞれ三百七十二万七千円が追加され、予算総額は二十二億七千六百七十八万七千円となりました。

公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号) (可決)

今回の補正は、国の景気対策による公共事業の促進のために補助金が追加され、野間高倉団地や海老津小学校通学路などの管渠工事が行われます。これにより、歳入歳出それぞれ六千百万円が追加され、予算総額は十二億六千五十六万一千円となりました。

農業及び漁業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号) (可決)

今回の補正は、歳入にお

いては、一般会計からの繰入金が増額、歳出では終末処理場用地購入費の増額が行われます。これにより、歳入歳出それぞれ八百十万円が追加され、予算総額は四億百六十七万八千円となりました。

マルチメディアスクリーン機器一式購入契約について (可決)

岡垣サンリーアイ館内の催し物の案内、中ホール及びアリーナの映像中継、映像広報の放映等、様々な情報を発信できる環境整備の一つとして「マルチメディアスクリーン機器一式」が購入されます。契約金額は一千七百二十九万六千円です。契約業者は、エコー電子工業(株)福岡支店となっています。

9月定例会報告

水道事業会計補正予算

(第1号)

(可決)

今回の補正は、海老津配水池築造用地に、町有地で県行造林の一部を代替地として提供するため、解除に要する立木補償が行われます。これにより、水道会計予算の資本的支出が二百二十六万九千円追加され、総額で一億九千三十二万四千円となりました。

平成10年度水道事業会計決算認定について

(認定)

平成10年度の水道事業の成果を示したものです。給水戸数は前年度より二百三十戸増加し、九千九百四十戸となりました。年間配水量は前年度より十三万八千トン増の三百二十四万九千トンとなりました。

収益的収入は、決算額四億八千三百三十九万二千円、収益的支出は、決算額四億三千九百一十一万一千円となり、差引四千二百三十八万

一千円から消費税額を調整し、三千六百四十三万七千円の純益となりました。資本的収支については、

収入決算額六千七百八十三万四千円、支出は一億九千七百三十万四千円となり、不足額一億二千九百四十六万九千円については、内部留保資金と建設改良積立金等で補填されました。

主な事業内容は、配水管新設や改良工事十五件で約九千九百円、総延長二千六百一十一メートルの改良工事が行われました。

監査委員は決算審査意見書のなかで、「なお一層徹底した経費の節減、能率的な経営の推進により、水道事業の健全な運営を確保することを望む」と述べています。

岡垣サンリーアイ第2期施設建設工事(第1工区)請負契約について

(可決)

総合体育館の建物周辺整備が行われます。

契約方法は、町内業者からなる特定建設工事共同企

業体7社による指名競争入札で行われました。

契約金額は七千三十五万円です。

請負業者は、小西・三建設特定建設工事共同企業体となりました。

工事期間は平成12年3月20日までです。

吉木第二汚水幹線(その1)管渠築造工事請負契約について

(可決)

野間区と吉木汚水中継ポンプ場までを結ぶ幹線管渠

工事が行われます。

整備延長は三百二十二メートルです。

工事費は、一億五千七百五十万円となっています。

介護保険制度の改善を国に求める意見書

(否決)

介護保険制度に関する

意見書

(否決)

介護保険制度の実施に向けて、介護サービス基盤の整備や低所得者に対する保険料・利用料の減免措置の

確立などを国、県広域連合

に求める意見書を提案されたが、意見書の内容は理解

できる部分はあるものの、広域連合に加入している以上、他町と足並みをそろえて出すべきだということ

で、否決されました。

聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書

(可決)

あらゆる部分で、聴覚障害者の社会参加を制限している法律があります。

特に、公職選挙法では候補者のテレビ政見放送はそのまま放送することを規定しており、手話通訳や字幕をつけることを認めていないので、結果的に聴覚障害者は、国民の権利である参政権が保障されていません。

よって、本町議会はノーマライゼーションの理念に基づき、欠格条項を早急に改正されることを要望する意見書を、内閣総理大臣や関係機関に提出しました。

平成10年度財団法人岡垣サンリーアイ管理公杜決算報告について

(報告)

平成5年7月に開館後6年を経過し、利用者数は順調に増加して、二十万八千人となり、前年に比べ一割強増加しています。

さらに本年3月には、延べ利用者数が百万人を突破する記念すべき年となりました。

事業面では「かたりべ講座」や「岡垣ふれあい文化塾さんりん舎」「いちご塾実行委員会」など人材育成に力を入れ、また、和太鼓「タオ」や「マルタ」のサクソフォンコンサートなどプロが地域のみなさんに指導する新たな分野の事業にも取り組み好評を得ています。

今後は、平成12年6月にオープン予定の第2期施設の完成に伴い、今一度生涯学習の拠点施設であることを再認識し、より一層の館運営の充実に努めたいと決意が示されました。

下水道の幹線工事予定地(吉木早崎付近)



専決処分の報告

平成11年度特定地域開発就労事業尾畑・小局線道路改良工事請負契約の変更
(報告)

補助事業費単価の改定により、二十二万八千円減額したと報告されました。

請願・陳情

本定例会で、請願三件と陳情一件の合計四件の審査を行いました。請願二件が採択され、あとは継続審査となりました。

聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める請願
(採択)

水稲種子助成金についての請願書
(採択)

「NPO法人(民間非営利団体)の育成策の強化を求



岡垣町の水田地帯

める意見書」の提出に関する請願書
(継続審査)

都市ガス導管拡張に関する陳情書
(継続審査)

臨時会報告

平成11年第四回臨時会が8月11日に開催され、町長からは、二議案の提出と、一件の報告があり、議員から、

一件の議案が提案され、全て可決、承認等をされました。

土地開発公社役員の任命について
(承認)

次の方が承認されました。

- 理事 早川達生(再任)
- 理事 竹井信正(再任)
- 理事 柴崎國雄(再任)
- 理事 石井要祐(再任)
- 理事 市津広海(再任)

- 理事 大堂園治(再任)
- 理事 樋高龍治(再任)
- 理事 安部雅孝(新任)
- 理事 羽山健一(再任)
- 理事 木原弘毅(再任)
- 理事 川原征則(再任)
- 理事 宮内實生(再任)
- 理事 須崎義弘(再任)
- 監事 神村幸彦(再任)

一般会計補正予算(第3号)
(可決)

災害復旧工事を行うために補正されました。これにより、歳入歳出それぞれ一億五千二百六十一



手野地区の河川災害箇所



原地区の河川災害箇所

万二千元を追加し、総額九十三億四千九十二万六千円となりました。

福岡県介護保険広域連合議会議員の選挙について
(決定)

松本国夫議長と刀根功町長が広域連合議会の議員に当選されました。

専決処分の報告

福岡県介護保険広域連合の規約の一部改正
(報告)

広域連合に立花町が加入されたことにより、広域連合議会の定数を二人増の百四十四にすると報告されました。

一 般 質 問



竹内 和男議員

災害発生の危険性の把握状況は

質問 どのような地域が、水害・土砂災害等の危険性がありうると考えているのか。

答弁 土砂災害については、西部の波津、手野地区、中部の三吉地区などの山地、丘陵部では山地斜面に集落形成されている場合が多く、また、中部の高倉、上高倉、東部の海老津、戸切、戸切百合野地区等の山地、丘陵部においては、谷底平野沿いの山地斜面に集落が形成されているため、これらの地域では崖崩れや斜面崩壊などの土砂災害に対する注意が必要であると思っ

ている。
質問 急傾斜地崩壊対策について、今指摘された戸切百合野地区の中に一部通路

等に亀裂や陥没がみられる。

早期復旧をお願いしたいかどうか。

答弁 今度の集中豪雨でも、道路の半分40センチ落ちている状況が余り変わっていない。

現地は民家のため、町がすべて復旧することにはならないが、過去の河川法面を復旧した経緯や、道路部分についてはゴミ周辺対策事業で行った経過がある中で、最小限道路としての機能が保たれるような、そういった対策工事をしなければならぬと、一定の方向

は決めている。

質問 今年みたいに雨が降る年はあまりない。

早急に、その部分にシートを張りなおすなり、そういった復旧をやった上で、陳情を行って、本格的な復旧を図るべきと思うがどうか。

答弁 相当雨が降ったにもかかわらず、現地は落ちついている。そういった中から、現況の道路に路盤を固めて舗装し、U字溝については再度復旧したい。その程度の工事の中から対策工事をやりたいと思っ



矢島 恵子議員

子育て支援施策について

質問 子育てと仕事の両立支援施策の中で、保育サービスはどうか。

答弁 東部保育所の乳児室の改修、保育室の増設を行い、現在の東部保育所の定員は百名、中央保育所は六十名であるが、三ヶ月児からの乳児を受け入れ、三歳未満児の入所を拡充してきた。

また、朝七時から夜七時まで開所時間を延長し、延長保育を、それぞれ東部保育所は平成8年から、中部保育所は10年から実施している。

質問 入所待機児の解消はどう考えているのか。

答弁 保育所の増設も検討の余地はあるが、敷地の広さや財政的にも問題があ



東部保育所の保育風景

る。基本的には、児童数の推移を見すえて考えたい。

質問 岡垣町では学童保育所を公設民営で開設しているが、公営に移行する考えはないか。

答弁 少子社会へ加速する中で、少子対策については行政の責務であると思うが、民営にも長所があり、運営方法については社会的動向、保護者の意見、財政的な見地から今後の課題として十分研究したい。

質問 子育て支援センターの設置の考えはどうか。

答弁 担当課と総合的に検討して推進する。



戸切百合野地区の災害危険箇所



大堂 園 治議員

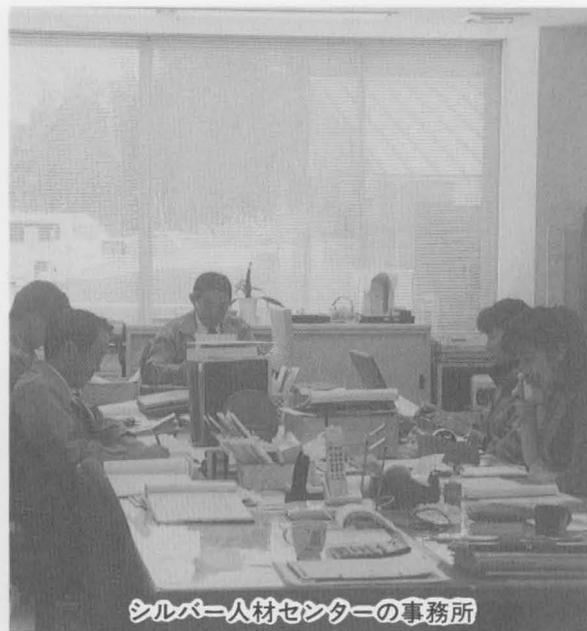
高齢者対策の生きがいづくりについて

質問 人材バンクの設立と運営を町で制度化するつもりはないか。

答弁 現在、ワーキングチームを編成し、人材登録制度の構築を進めており、来年度より運用を始める予定である。

質問 シルバー人材センターの促進をもっと図り、高齢者の雇用拡大と生きがいづくり、同センターの役割を大きくし、駐車場の管理など町に關係する雇用を一元化したらどうか。

答弁 町営駐車場の管理は高齢者事業団に委託している。ほとんどが岡垣在住の高齢者の方である。いろいろ問題はあるが、できるものなら一元化の方向で協議を重ねていきたいと思っ



シルバー人材センターの事務所

いる。

質問 町老連活動の支援をもっと強化していく考えはないか。

答弁 老人クラブ寿会連合会に対して活動基盤強化事業などに助成をしている。特に今年度は「国際高齢者年」でもあり、記念事業を共催で実施し、予算を付けるなどして積極的に支援していきたい。

福祉対策について

質問 今、福祉のあり方で、

向上型、自助型、共助型の福祉と言われてはいるが、町老連ではお互いに声をかけ合うとか、そういった共助型の総合支援策を考えているかどうか。

答弁 福祉、特に高齢者の福祉といえは行政だけでは到底賄いきれない。

ボランティアのみならず、また町民のみならず協力し、相互扶助の精神の中で考えていきたいと思っている。



細川 光利議員

農業問題とまちづくり

(その2)

後継者育成とひとつづくりについて

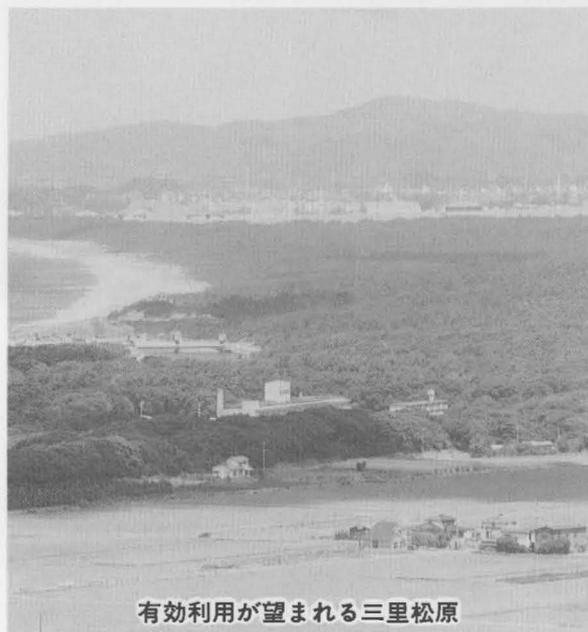
質問 前回の基本理念を前提に後継者育成とひとつづくりの件で町行政方針、施策について答弁を求める。

答弁 制度を活用して担い手、青年、女性農業者を育成し、最大の事業として認定農業者への利用集積で大規模農家の育成に努める。

質問 町の農業振興、活性化各計画書に後継者育成が明記されているが、何故具体施策が実施されないのか。

答弁 根本的問題は農業は苦勞のわりに経済所得が少ない。農協や農振連と協議する必要がある。

質問 農村は水を中心に村



有効利用が望まれる三里松原

いて

三里松原と海岸線保全・保護の基本方針について

共同体の文化がある。昔は町役場に農業技術の専門職員がいたが、今はいない。

答弁 農協に営農指導員がいる。農業者の意識改革とやる気が必要である。

質問 他の地方自治体を見ると農村活性化、担い手、後継者育成で力を発揮する町職員、農協職員など仕掛人的人材を配置しているが。

答弁 国の予算がつくものは行う。認定農業者等の意見を聞く。

質問 平成11年5月28日、国会衆参議会で海岸法の一部が可決交付された。

平成12年以後、防風保安林と侵食海岸の保全、回復を主体とした整備事業が四省庁共同で実施される。町は具体的の方策を持って、国の事業対象地域に指定させるため緊急に体制づくりと方針を持つべきだ。

答弁 まだ県から通達は受けていないが、関係機関と調整する。議会で調査、研究をしていただく。三里松原防風保安林保全対策協議会と協議をする。

一 般 質 問



平山 弘議員

介護保険について

質問 65歳以上の介護保険料は一人平均月額二千八百八十五円と厚生省は発表した。

65歳以上の75%が住民税非課税の低所得者である。

質問 介護サービス利用料も在宅で月額六千円〜三万五千元、特別養護老人ホームでは五万円にもなる。

こんなに保険料や利用料が高くては払えないという声は、世論調査でも六割を越えている。

質問 保険料、利用料の減免措置制度を求めます。

答弁 減免措置制度を設けると安定的な保険運営ができなくなる。

町としては、介護保険制度の見直しを含め、国等に改善を求めていきたい。

質問 これまで町が行ってきた福祉サービスの水準は後退させないとした確固たる措置を求めます。

答弁 本町が行っている福祉サービスは、現行どおり行うが、要介護認定で自立と認定された人を独自で判定してサービスを提供するか、また利用者負担はどのようなにするかは、郡内の担当者が検討を行っている。

中学校の完全給食について

質問 全国では約70%の公立中学校で完全給食が実施されている。

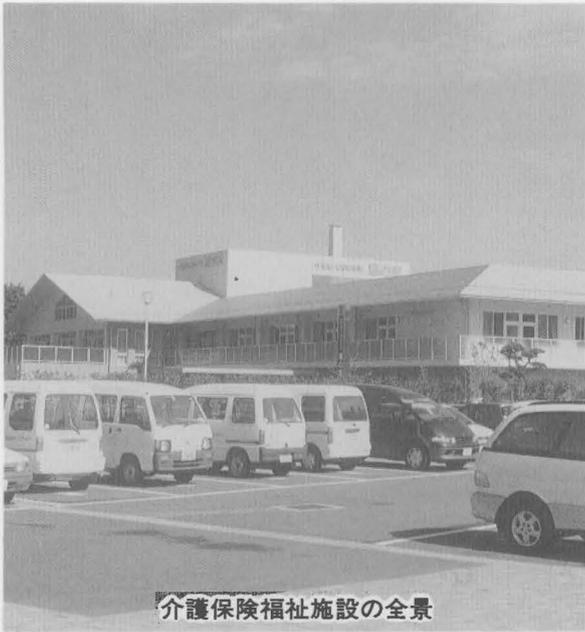
「育ちざかりの子どもたちに、バランスのとれた給食を」と保護者の要求は大である。

本町での中学校の完全給食を求めます。

答弁 6月に給食についてのアンケート調査をした。

その結果は、生徒は否定的が68%、教師は否定的が76%、保護者は肯定的が79%だった。現時点では、生徒は弁当やパン食を望んでいるのでこの現実を尊重したい。

将来にわたってしないという事ではない。今後の課題としていく。



介護保険福祉施設の全景

国旗・国歌のありかたについて



久保田 秀昭議員

質問 日の丸・君が代を国旗・国歌とすることに国民の合意が得られていると考えているか。

答弁 国民の代表の国会が決めたのだから合意が得られていると解する。

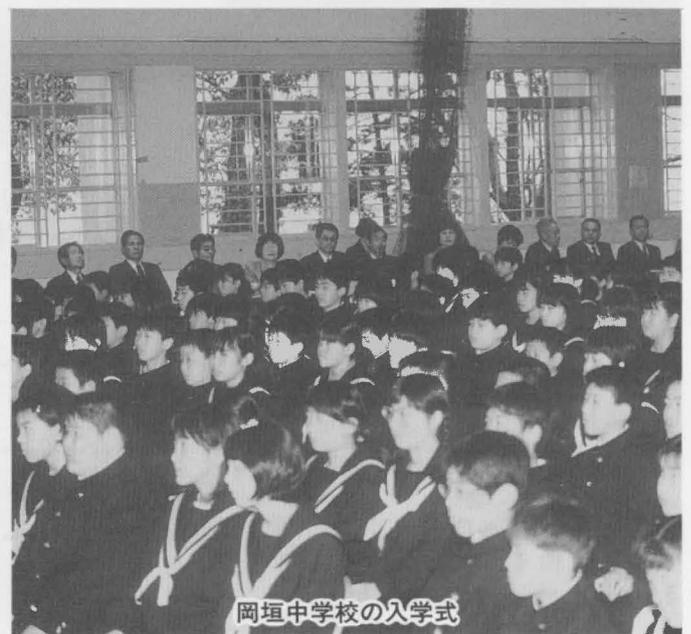
質問 それが町長の政治姿勢と確認する。

日の丸・君が代が果たしてきた役割は絶対的君主制のシンボル、侵略と戦争の象徴というのが歴史的事実である。

町長の認識はどうか。

答弁 そういう考えの人もいます。

質問 これでは国旗・国歌としてふさわしくない。教育現場で卒業式や入学式で国旗掲揚、国歌斉唱という形で一律に義務づける



岡垣中学校の入学式

というやり方は問題である。

教育基本法は教育の目的に個人の尊厳を重んじ、人格の完成や自主的精神を培うことをあげている。

こうした個性ある人間育成を図るためにも、子ども、教職員に思想・信条の自由等内心の自由が十分に保障されなければならない。

町の教育方針もその事を明記している。

現憲法で思想・良心の自由など内心の自由が明記されたのは戦前の天皇制の下

で内心の自由等国民の権利がまったくなかったからである。学校教育では天皇をすべての道徳の根源とする教育勅語の下で天皇への無限の奉仕と忠誠を強制された。その反省にたつて制定されたのが現在の教育基本法であることは承知しているか。

答弁 承知している。

質問 先進国では強制していない。

町民や学校への使用の強制をしないように強く要求して質問を終わる。

岡垣町議会議員 2 名が自治功労者表彰を受ける。

去る9月7日、福岡県町村議会議長会五十周年記念式典の席上で、細川光利議員と勢屋康一議員が20年以上という永い間町村議会議員として、地域の発展に功労があったとして、県町村議会議長会会長から表彰されました。

両名の議員に受彰されたことの感想をうかがいました。

勢屋 康一議員

議員活動をふりかえって

私も28年間議員活動をふりかえってみますと、いろいろありました。

昭和46年に初当選したときは、高陽団地内道路は一本も舗装していない状態でした。私は団地内道路の舗装に、まず取り組みました。

また、一方で都市計画法に基づいた団地造成をするよう取り組み、そして海老津台団地等々のすばらしい

団地ができました。

昭和53年には射爆場が撤去され、昭和63年には私も

含め、通勤者の念願でありました駅前広場を含めた駅舎の改築を行い、バス乗り入れができ、岡垣町の玄関が完成しました。

この事業は地元関係者の大変なご苦勞がありました。

平成12年4月から介護保険が実施されます。年金者の方々も年金から差し引かれるようになります。問題は沢山あるでしょうが、今

細川 光利議員

議員活動29年をふりかえって

昭和42年4月28歳で初当選以来、30代、40代、50代と今回任期が終われば62歳になります。

初議員時代、町役場は古い木造2階建てで吉木区にありました。議場は折たたみ机、折たたみ椅子で、今日では考えられない状況でした。同僚議員は全員父親年代の強者ぞろいでした。一日も早く対等なものが

言え、仕事もできる議員にならなければならぬ、同僚議員の年代になったときには、その人以上の議員になると心の中で決意をしたところでした。

その道はただ一つ議員活動に専念して、身をもって体験を重ねていくことでした。

そのことは、極貧生活の試練の29年間でもありました。

また、幾多となく大きな行政課題に直面してきまし



までよりサービスが低下しないよう、進めていかなければなりません。

今日表彰を受けたことは、町民のみなさんのおかげでございまして深く感謝

を申し上げる次第です。

これを契機に私も精進し頑張る決意です。

今後ともよろしくご指導の程お願い申し上げます。

たが、町民のみなさんのご支援、ご協力で乗り越えてくることができました。

激動、激変時代の今日、初

心を忘れることなく全力で町政に取り組むことを決意して感謝の言葉とします。



編集後記

9月7日福岡県町村議会議長会主催の創立五十周年記念式典が、県下全町村議会議員が参加して盛大に行われました。この中で永年勤続の議員表彰が行われ、本町から2名表彰されました。心からお祝い申し上げます。

さて、本町議会の状況は、新人議員の議会発言が多くなってきました。先輩議員に遅れまじと、住民の負託にこたえるために堂々と意見を述べられ、議会の活性化につながっています。

住民の意見、要望を迅速・的確に行政に反映させることが、何よりも大切なことではないでしょうか。第一四六通常国会において、地方分権推進法が成立しました。

地方自治体と議会が一体となって取り組み、住民の皆様にお応えしていきたいと思えます。

竹井 和明

議会広報委員会

- 委員長 木原 信次
- 委員 竹井 和明
- 委員 勢屋 康一
- 委員 下川路 勲
- 委員 曾宮 良寿